

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Endocytoscopy による大腸癌の分化度診断に関する検討：後方視的研究

1. 研究の対象

2005年1月1日から2016年3月31日までに昭和大学横浜市北部病院消化器センターにおいて内視鏡的にあるいは外科的に切除された早期大腸癌の患者のうち、切除前に Endocytoscopy による観察を施行されていた症例。

2. 研究目的・方法

Endocytoscopy は約 400 倍の拡大倍率を有する超拡大内視鏡で、生体内で病理像に類似した画像を描出することができる。拡大内視鏡による pit pattern 診断は質的診断・量的診断に有用であり、Endocytoscopy を併用することでその診断能が上乘せされることを我々はすでに報告しており、大腸腫瘍診断における有用性が広く知られている。これまでに Endocytoscopy による大腸癌の分化度診断に関する報告はなく、今後その所見の解明は大腸癌の診断治療に貢献することと考え、今回我々は Endocytoscopy による早期大腸癌の分化度診断について検討を行った。

本研究では、Endocytoscopy による観察で得られる腺腔と核の形態の内視鏡所見から早期大腸癌症例の分化度を検討し、切除標本の表層の病理所見と対比する。

研究期間

2015年4月1日～2017年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者の medical record および内視鏡画像、病理標本

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 氏名：若村 邦彦

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000 (内線 7757)

研究責任者：

所属：昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 研究責任者：若村 邦彦